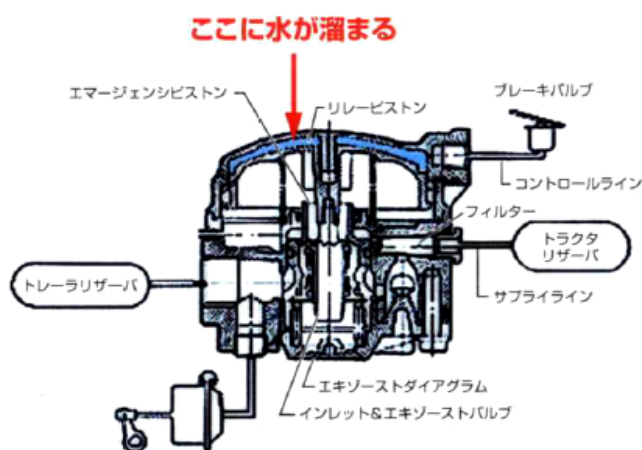


## リレー・エマージェンシ・バルブ内ピストン部の水分除去方法

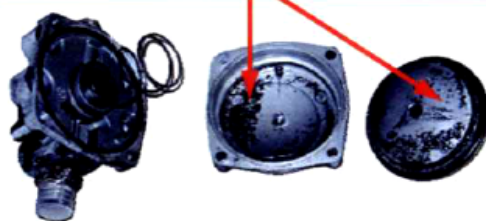
専門的な技術、機械工具を必要とする点検整備は専門の整備工場を受けてください。  
(本装置の分解整備を行う場合は整備要領書に従って作業を行ってください。)

カバーを外し、更にリレーピストンも取り外し、カバー内面及びピストンの水分・スラッジ等を除去しカバー内面に専用グリス(リチウムベースグリスNo2相当)を塗布する。

### 《例》RE-6の場合(分解内部写真)



### この部分の清掃を確実に(水分除去)



### 清掃後のバルブ内部



## 水分除去分解手順

1. コントロールラインのエア配管を取り外す。
2. リレーバルブカバーのボルト4本を取り外す。
3. 上部カバーとピストンを本体より取り外す。
4. カバー部からピストンを分離する。  
(ピストン分離時、コントロールポートよりエアを吹き込むと簡単に外れます。)
5. カバー内側とピストン頭部の水分及び付着物を布等にて清掃する。

※上記点検と同時にコントロールライン及びサプライラインの配管内をエアブローして水分を排出してください。

## トラクタ側のエアードライヤ点検のお願い

※トラクタ側のエアードライヤを定期的に点検整備、フィルタを交換してください。

冬季の寒冷地などではブレーキ内に水分が含まれていると凍結して作動不良を起こす要因となります。エアータンクの水分除去を充分に行ってください。

トラクタ側に装着されているエアードライヤは定期的にトラクタの取扱説明書などに従って整備を行ってください。

(日常点検でドレンコックから水が大量に出る場合は、トラクタのエアードライヤの点検整備を早めに行うようにしてください。)

## バルブ内の消耗部品の定期交換のお願い

バルブを分解整備した場合はゴム製品(Oリングなど)及びスプリング類の交換をしてください。  
バルブ内を洗浄して清浄なグリスの塗布を行ってください。

本紙についてのご質問などは日本トレクス株式会社トラレーラ特装技術サービス室(050-3367-7494)まで  
リレーバルブリペアキットなど部品のご用命は日本トレクス株式会社部品営業室(050-3367-7483)まで